

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県桂川ウェルネスパーク
所管課 県土整備部 都市計画課
指定管理者 アメニス山梨(桂川)グループ
構成団体 株式会社アメニス、株式会社自然教育研究センター、株式会社東勝緑産

1 指定管理者の推移

導入年度	平成21年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資法人	指定期間				
アメニス山梨(桂川)グループ		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	302,000,000
アメニス山梨(桂川)グループ		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	302,528,000
アメニス山梨(桂川)グループ		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	254,105,317

2 施設の概要

所在地	大月市富浜町鳥沢8438
設置年月日	平成19年3月23日
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること。 ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)農林業の体験の場を提供すること
主な業務の内容	(1)公園施設(緑地含む)及び設置器具等の維持保全に関する業務。 (2)有料施設の利用承認に関する業務。 (3)農林業の体験の機会の提供に関する業務。 (4)県が実施するイベント等への協力。
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 44.2ha(うち指定管理区域42.4ha) ○施設の内容 ・西ゾーン(9.9ha) 里山交流館(管理棟866㎡、木造2階建)、交流広場(芝生広場)、遊びの庭(遊具)、菜園、体験の庭、駐車場等 ・中央ゾーン(16.0ha) 農業見本園、里山体験棟(納屋129㎡、木造1階建)、子供広場(遊具)、中央広場、平坦広場、運動広場、ドッグラン、吊り橋(L=122m、W=2.0m)等 ・東ゾーン(16.5ha) ピクニック広場、ハーベキュー場、園路、棚田、四阿、散策路、駐車場等
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	61,422,429	61,336,922	64,384,118	64,579,021	64,835,739	
支出合計	61,373,624	61,315,605	64,337,757	64,776,462	64,773,079	
収支差額	48,805	21,317	46,361	△ 197,441	62,660	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	91,474人	77,161人	84,894人	76,193人	90,221人	来園者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

年間来園者数目標78,000人のところ90,221人と利用者数は着実に増加している。令和2年度の来園者数76,193人、新型コロナウイルス感染症の流行前である令和元年度の来園者数84,894人と比較しても利用者数は増加している。有料施設利用者数目標は令和2年度実績の5,082人に対して5,155人と微増となっている。

この要因としては、次の事項が考えられる。

維持管理運営に関しては、園路等の頻繁な機械除草、定期的な清掃や共用スペースの毎日の消毒の徹底、トイレの清潔感の確保等により、利用者満足度を向上させた。また、雑木林や東ゾーンヒノキ林の間伐、整備作業を進め、新たに利用者の憩いと農林業体験で活用できる場を創出した。

イベントに関しては、東ゾーンBBQサイトを活用した防災キャンプイベント等を開催し、アウトドアイベントのニーズに応えた。また、大月市主催の世界桃太郎サミットのメイン会場として活用してもらうなど地域連携の強化も図った。また、コスプレ利用者向けの情報発信及びイベントを展開し、新たな層の利用者獲得も図った。

便益施設運営として、レストランのメニューは常に利用者のニーズを勘案するとともに、テイクアウトメニューの充実を図った。

情報発信として、公園ホームページを全面リニューアルしたほか、SNSを活用し、県内県外問わずさらに幅広い層への広報を展開した。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントが中止となったが、コロナ対策を踏まえたイベントを開催することで利用者が増加し、目標値に達することができた。

臨時特別要請時にも利用者を減少させない工夫を行ったほか、地域との連携も積極的に行っており、新たな利用者層の獲得に繋がっている。

都市公園における県民の憩いの場の提供のための事業及び農林業体験の機会の提供のための事業について、目標値を上回る実績となり評価できる。

また、適切な管理運営を実施したことで、利用者からは高い満足度を得られている。

コロナ禍でも安心・安全に利用できる取り組みと情報発信を行い、利用者の満足度を高めるよう努めること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

感染拡大防止対策を実施し、ホームページやSNSにより情報発信を行ったことで、利用者が安心して来園し、安全に利用できる環境づくりに努めた。具体的には、食を扱うイベントの他イベントへの振り替え、イベント参加者人数制限設定、参加者同士が適切な距離を保てるような配慮するなどを行った。

コロナ禍においても農林業体験、自然体験プログラム、季節の展示を年間を通して90件以上開催した。山梨県の臨時特別要請に従い催事を開催できない期間は、季節や催事のテーマに沿ったクイズラリーを設置し、利用者を減少させない工夫を行った。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県桂川ウェルネスパーク
 所管課 県土整備部 都市計画課
 指定管理者 アメニス山梨(桂川)グループ
 構成団体 株式会社アメニス、株式会社自然教育研究センター、株式会社東勝緑産

1 利用状況 (単位:人、%)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	公園利用者数	91,474	77,161	84,894	76,193	90,221
	(うち事業参加者数)	(12,569)	(13,630)	(13,208)	(8,362)	(7,346)
	(うち有料施設利用者数)	(6,253)	(9,202)	(7,627)	(5,087)	(5,155)
	利用者数合計	91,474	77,161	84,894	76,193	90,221
	目標値	96,000	100,000	100,000	58,200	78,000
	実績/目標割合	95.3%	77.2%	84.9%	130.9%	115.7%
	目標値の設定方法	R1年度:100,000人 R2年度:58,200人 R3年度:78,000人 事業提案書に定めるR3年度目標人数×減少率+工夫による増加人数 R3年度目標人数=120,000人×62.4%+3,100人=77,980人≒78,000人 ※減少率=1-(当該期間の実利用者数21,294人/R2年度当該期間の元々の目標人数34,145人)=62.4% ※当該期間:ガイドライン策定による開館日5/15~9/30 ※R2年度当該期間の元々の目標人数:R1年度実績25145人+イベント来場者4,000人+観光ツアー誘致3,000人+団体利用2,000人=34,145人 ※工夫による増加人数 新規持ち込みイベント誘致1,300人 観光ツアー客誘致1,800人 計3,100人				
利用率	稼働率等(利用率)	251人/日	211人/日	232人/日	209人/日	249人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1)山梨県曾根丘陵公園 (2)山梨県富士川クラフトパーク (3)山梨県愛宕山広域公園
----------	---

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

県	複合遊具改修工事	101,516,800
県	遊具改修工事外2件	68,522,300
管	散策路支障木伐採	120,000
管	ソフトクリームフリーザー修繕	101,200
管	里山交流館女子便所自動水栓修繕他35件	1,883,125

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
2	随意契約	売上額の25%	162,404	
2	随意契約	売上額の25%	260,445	
1	随意契約	売上額の25%	151,488	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収 入	A 収入額計	61,422,429	61,336,922	64,384,118	64,579,021	64,835,739
	施設利用料	291,900	266,950	205,050	128,650	135,250
	指定管理者委託料	60,428,000	60,376,000	63,380,000	63,572,580	63,357,737
	自動販売機手数料	447,529	413,972	436,168	431,401	574,337
	農林業体験事業収入	255,000	280,000	362,900	446,390	768,415
支 出	B 支出額計	61,373,624	61,315,605	64,337,757	64,776,462	64,773,079
	人件費	23,539,068	23,743,323	26,152,877	26,773,267	26,751,552
	修繕費	1,764,864	1,821,030	1,926,349	1,984,013	2,104,325
	光熱水費	3,462,034	4,246,504	3,681,282	3,258,602	3,459,838
	燃料費	595,000	503,811	598,542	581,324	806,768
	印刷製本費	115,501	151,180	287,591	143,359	100,256
	消耗品費	970,791	808,471	621,788	1,311,729	1,154,917
	保険料	279,570	263,500	362,622	244,395	248,315
	通信運搬費	461,285	469,539	457,589	392,253	263,857
	施設管理費	585,139	280,405	323,371	557,358	634,971
	農林業体験事業支出	2,558,380	1,918,200	2,514,607	2,368,143	2,430,976
	使用料・賃貸料	372,452	406,054	1,280,018	1,142,909	853,856
	事務経費	1,734,145	1,349,828	1,760,532	2,094,380	1,908,274
	租税公課費	13,500	13,500	13,200	12,000	12,000
	その他	164,000				
	その他					
	外部委託費	24,757,895	25,340,260	24,357,389	23,912,730	24,043,174
	清掃業務	2,889,609	3,009,981	3,041,100	2,969,780	3,146,220
	菜園棚田管理	3,794,495	3,890,050	3,806,280	3,850,440	3,850,000
	システム・HP管理	1,144,800	1,144,800	1,417,000	1,430,000	1,102,751
植栽管理	15,444,000	15,638,400	14,620,000	14,300,000	14,300,000	
施設管理	1,484,991	1,657,029	1,473,009	1,362,510	1,644,203	
外部委託比率	40.3%	41.3%	37.9%	36.9%	37.1%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	48,805	21,317	46,361	△ 197,441	62,660	

一人当たり指定管理者委託料*	660.6	782.5	746.6	834.4	702.3
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計	7,297,907	7,419,351	6,553,428	4,531,901	6,473,490
D 支出額計	6,993,640	8,382,759	8,554,999	7,387,372	7,645,318
収支差額(C-D)	304,267	△ 963,408	△ 2,001,571	△ 2,855,471	△ 1,171,828

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

6 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和3年4月～令和4年3月 実施方法:来園者へのアンケート 回答総数:402件			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
樹木・芝生等管理状況	83.6%	15.5%	0.6%	0.3%
ベンチ・園路・トイレ	83.1%	16.5%	0.4%	
遊具・工作物	81.4%	16.9%	0.8%	0.9%
広報・案内等	65.1%	30.6%	3.5%	0.8%
イベント等の充実感	57.4%	34.4%	6.4%	1.8%
スタッフの対応	75.7%	21.1%	1.6%	1.6%
施設全般の満足度	82.7%	16.7%	0.6%	
利用者の主な意見	<p>【賞賛】 <ベンチ・園路・トイレ> ・トイレが清潔感があり、使いやすい。 <遊具・工作物> ・遊具がどんどん新しくなり、安心して子どもを遊ばせることができる。 <イベント等の充実感> ・クイズラリーが楽しかった。 ・季節を通じたイベントに感激した。自然を満喫でき、リフレッシュした。</p> <p>【要望】 <ベンチ・園路・トイレ> ・日陰で休めるベンチが欲しい。 <遊具・工作物> ・6歳未満の子どもが遊べる遊具が欲しい。もっと遊具を増やして欲しい。 ・室内の遊ぶ施設を充実させてほしい。 ・水あそび場が欲しい。 <イベント等の充実感> ・フリーマーケットを開催して欲しい。 ・屋外の音楽会やイベントがあるとよい。 <広報・案内等> ・園内外の案内などを詳しくしてほしい。</p>			
利用者の意見への対応	<p>【ベンチ・園路・トイレ】 ・ドッグランへのタープの設置に加え犬用のプールを設置することにより、夏期の利用環境を改善させた。 ・自作のベンチを増設し、休息できる場所を設けた。</p> <p>【遊具・工作物】 ・夏の催事に合わせて水あそび場を稼働する予定だったが、臨時特別要請発出に伴い催事を中止した。 ・遊具の増設要望については引き続き山梨県へ情報共有を行うとともに、雨天時でも遊ぶことのできる屋内施設の設置を提案した。</p> <p>【イベント等の充実感】 ・県の臨時特別要請発出に伴い開催できなかったが、約50店舗のマルシェを展開するよってって市を企画した。 ・キャンプイベントでは屋外でヴァイオリン演奏を行うなど音楽の要素を盛り込んだコンテンツも展開した。 ・アフターコロナを見据え、令和4年度の開催に向けてプロのDJによる音楽配信イベントや、音楽ステージとマルシェを融合したイベントを企画した。</p> <p>【広報・案内等】 ・公園パンフレットおよびホームページをリニューアルし、より訴求力のある情報発信を行った。また、SNSも活用し、公園の旬の見どころ情報を常に発信し続けた。 ・里山交流館内に大月市の観光情報ブースを設置した。 ・比較的使用頻度の高い園内での禁止事項案内看板の増設、駐車場案内看板の増設など、利用者の案内、誘導について配慮した。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>園路等利用頻度の高い場所は頻繁に機械除草を行い、常に利用者が快適に利用できる状態を維持した。</p> <p>週5日の清掃や共用スペースの毎日の消毒を徹底し、利用者満足度調査においても、トイレの清潔感があり、使いやすいという意見をいただいた。</p> <p>園地管理は陳情前対応を基本とし、これまで手付かずだった雑木林や東ゾーンヒノキ林の間伐、整備作業を進め、新たに利用者の憩いと農林業体験で活用できる場を創出した。</p>	<p>陳情前対応を基本とすることで、利用者からも高い評価を得ている。</p> <p>園内の状況を正確に把握し、施設の不具合等の早期発見、修繕により適切な維持管理業務を遂行している。</p> <p>今後も適切な維持管理を行い、利用者が安全で快適に利用できる環境整備に努めること。</p>
運營業務	<p>農林業体験、自然体験プログラム、季節の展示を年間を通して90件以上開催し、コロナ渦においても農林業体験を通じた学びの場を提供することができた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響を勘案し、食を扱うプログラムの代わりに代替のプログラムを実施する、催事を複数日に分けて開催するなどの工夫をした。</p> <p>山梨県の臨時特別要請に従い催事を開催できない期間は、季節や催事のテーマに沿ったクイズラリーを設置し、利用者を減少させない工夫を行った。また、里山サテライトなど屋外展示を充実させ、利用者を常に飽きさせない工夫を行った。</p> <p>ボランティア活動も活発で、帝京科学大学の学芸員実習の受け入れを引き続き行うだけでなく、大月短期大学、都留文科大学のイベントボランティア受け入れを行った。石窯くらぶ主催のピザ焼き体験なども開催した。</p> <p>農林業体験の参加者数は県の臨時特別要請発出に伴い、1,000人規模の集客を行う予定であった夏の催事および冬の催事を開催できなかったことから3,000人以上減少したが、地域住民や情勢に配慮したイベント展開ができた。</p>	<p>コロナ対策を踏まえた新たなイベントを開催することで公園利用者の増加に努めた。</p> <p>臨時特別要請時でも来園者数を減少させない工夫を講じており評価できる。</p> <p>地域との連携も積極的に行っており、新たな利用者層の獲得にも繋がっている。</p> <p>今後も適切な運營業務を行い、利用者の満足度向上に向けた環境づくりや地元自治体と協働した公園づくりに努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>利用状況</p>	<p>年間来園者数目標78,000人のところ90,221人と利用者数は着実に増加している。令和2年度の来園者数76,193人、令和元年度の来園者数84,894人と比較しても利用者数は増加している。有料施設利用者数目標は令和2年度実績の5,082人に対して5,155人と微増。</p> <p>東ゾーンBBQサイトを活用した防災キャンプイベントOtsukiOutingStyleやウェルネス夏の林間学校を開催し、アウトドア系イベントのニーズに応えた。コロナ禍で課外活動の制限された親子を対象に夏にしか体験できないプログラムを提供することができた上、従来活用されていなかった森林エリアをハンモックサイト等に有効活用することができた。</p> <p>10月には大月市主催の世界桃太郎サミットのメイン会場となった上、大月市観光情報ブースを充実を図るなど、大月市との連携も着実に強化している。</p> <p>コスプレ撮影で町興しを図る大月市の方針に則り、コスプレ利用者向けの情報発信、コスプレイベントを展開し、新たな層の利用者獲得に繋がっている。</p>	<p>利用者のニーズに適切に対応し、利用者の増加に努めている。</p> <p>また、利用者が少ないエリアを使い、事業を展開することができたことは非常に評価できる。</p> <p>今後も利用者へ感染拡大防止を呼びかけつつ、地域との連携もさらに強めながら安心安全な環境の提供に努めること。</p>
<p>収支状況</p>	<p>コロナ禍で公園有料施設の利用者数が激減し、前年度より利用者数は増加したものの有料施設利用料金収入が伸び悩んだ。</p> <p>イベントの検温要員の増員や消毒液などコロナ対策物品の支出も増加した。</p> <p>県備品修繕費の支出が増加し、特にソフクリームフリーザーの修繕に費用を要した。</p> <p>参加者1人当たりの参加費単価が大きいため従来の農林業体験よりも収入の見込めるキャンプイベントの展開に伴い、昨年度比約30万円、農林業体験収入は増加した。</p> <p>年間を通して予算金額内で管理運営を行うことができた。</p>	<p>コロナ禍前より収入が見込め、さらに需要の高いイベントの展開ができたことは今後の運営にも繋がっていくと思われる。</p> <p>コロナ禍による出費は避けられないが、経費の削減が可能である箇所については削減に努め、計画的な収支管理を行うこと。</p>
<p>自主事業</p>	<p>レストランのメニューは常に利用者のニーズを勘案し、カレーパンやホットスナックなどのテイクアウトメニューの充実を図った。</p> <p>犬連れの利用者をターゲットとしたヒノキの咬み棒などを販売し、非常に好評であった。</p> <p>コスプレ撮影で町興しを図る大月市の方針に則り、里山体験棟を更衣室として貸し出しを行った。</p>	<p>テイクアウトメニューの充実や犬連れ利用者に向けた工夫など、コロナ禍でも利用者が安全に利用できる自主事業を行っている。</p> <p>今後も感染症拡大防止に取組みつつコロナ禍における利用者のニーズを把握し、満足度を高めるよう努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

<p>利用者満足度</p>	<p>各項目において、「満足」あるいは「どちらかといえば満足」の割合が高く、利用者に充実したサービスを提供することができていると考えている。木陰の休息スペースの創出や、令和2年度までの利用者からの意見で多かった昆虫関係のイベント実施など、毎年の満足度調査を反映させた管理運営がなされていると考えている。</p> <p>公園ホームページを全面リニューアルしたほか、SNSを活用し、県内県外問わずさらに幅広い層への広報を展開した。サクラの開花状況・紅葉の状況などInstagramを中心としたSNSで頻繁に発信し、利用者や旅行会社からの反響もあった。</p> <p>利用者アンケートは管理運営に反映させ、要望の多かった昆虫関係のイベントを充実させた。</p>	<p>適切な運営管理により利用者から高い満足度を得られている。</p> <p>コロナ禍でも安全・安心に利用できる取り組みを実施しつつアンケート調査等により利用者のニーズを把握し、満足度を高めるよう努めること。</p>
---------------	---	--

8 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>都市公園における県民の憩いの場の提供</p>	<p>都市公園における県民の憩いの場の提供のため、有料公園施設(料理教室、作業室)の年間利用者数を評価指針として設定した。</p> <p>結果、年間利用者数は5,155人となり、目標値5,087人を上回る結果となった。</p>	<p>今後も憩いの場としての公園施設の利用促進につながるよう、コロナ禍に対応するイベント企画や情報発信を積極的に行い、利用者増加に努めること。</p> <p>また、SNSも活用し、利用者の意見等の収集率を向上させ、より良い施設運営へのフィードバックに努めること。</p>
<p>農林業体験の機会の提供</p>	<p>農林業体験の機会提供のため、農林業体験に関する催しの年間参加者数を評価指針として設定した。</p> <p>結果、年間利用者数は7,346人となり、目標値8,362人を若干下回る結果となった。</p>	<p>公園の特色や立地条件を活かし、農林業体験の充実や魅力向上を図るとともに、適切な情報発信を行い、利用者増加に努めること。</p> <p>また、SNSも活用し、利用者の意見等の収集率を向上させ、より良い体験事業の企画へのフィードバックに努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

